



5歳児クラス 9月 第3回 「ゆうこのキャベツぼうし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「どんな野菜を知ってるかな？」キャベツが出たところで、「キャベツを被ったことある？」「帽子じゃないもんね…」 絵本提示「このお友達はキャベツを被ってるの…なんでだろうね」等、絵本の世界に繋げ読み始める。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①自分もキャベツ帽子を被った気持ちになれるように読む。 ②登場人物を覚えられるように、人数や名前を確認する。 ③オオカミの優しい気持ちを理解できるように話を進める。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒にになり、意見を言いながらお話を聞く 	

がくしゅうタイム

活動①		記憶	お話を思い出しクイズに答えることができる	
設問	「ゆうこのキャベツぼうし」を読んでクイズに答えましょう			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「これからキャベツ帽子のクイズをします！」 			教材
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「クイズがんばる人！」等で意欲的に挙手して始めてもよい。 <p>【問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問1) 絵本にはゆうこの他に何種類の動物が出てきましたか？ 問2) キャベツをくれた人は誰ですか？ 問3) キャベツ帽子を被ってやった遊びはなんでしょう？ 問4) このお話のお天気はどんな天気でしたか？ <ul style="list-style-type: none"> クラスに合わせてクイズを出す。 絵本やシアターを見ながら答え合わせをし、称賛する 			<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット)
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 子どものフォロー 称賛
活動②		巧緻性	指先を使い画用紙でキャベツ帽子を作ることができる	
設問	指先を使い画用紙でキャベツ帽子を作りましょう			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：キャベツ帽子を被って「そおーつとそおーつと、ジグザグジグザグ」楽しい雰囲気登場 			教材
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「先生楽しそう。いいなあ、先生もキャベツ帽子欲しいな」 保：「もちろんありますよ！はいどうぞ」で、画用紙キャベツを提示。 ※事前に皆の画用紙をくしゃくしゃにしてキャベツのように丸くしておくのも良い。 講：「ありがとう、1枚剥がすね」画用紙キャベツから1枚剥がす。 講：「何か違うね…」キャベツ帽子と見比べて作り方を考える。 画用紙を伸ばして指先を使いちぎる。 丸めたりしながら形を整えてキャベツ帽子の完成。 講師もキャベツ帽子を被り子ども達に見せて作りたい意欲を持たせ、子ども達もキャベツ帽子を作る。 子ども達に画用紙を配布する際に、おはじき10個と交換する活動を入れても良い。 出来上がった子から被って鏡で見たりしても良い。 			色画用紙
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> キャベツ帽子を被って登場 キャベツ提示 画用紙配布 子どものフォロー ※紙をちぎる活動は差が出やすいので、見守るのではなく手を貸しましょう。 称賛

活動③	ねらい	表現	キャベツ帽子を被り、歩いたり遊んだり出来る	
設問	キャベツ帽子を被ってゆうこや動物達に変身して遊びましょう			
こま	講：「さあ皆出来たかな？皆で被ってみましょう」			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> キャベツ帽子を被り、その場で立ったり・座ったり・回ったりする。 スペースがあれば安全面に気を付けながら、片足立ち・ジャンプ・ストレート歩き・ジグザグ歩き・キャベツ鬼等、ゆうこ達になりきって楽しく表現遊びを行う。 称賛をして終了する。 			キャベツ帽子
				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶ 子どものフォロー 称賛

数チャレ	ねらい	数	10個にすることが出来る	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう			おはじき お皿（5個～7個入り） お皿（数個）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 今月は10個の操作です。お皿に5～7個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿（数個入っている）から5～3個取りお皿に入れて10個になったか数える。（クラス・個人に合わせて数を調整する。） 			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 皿提示 子どものフォロー

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	活動①に繋がるよう意識しながら読むことが出来たか
活動①記憶	子ども達のやる気を引き出しながら、全員に発言の機会を設けることが出来たか
活動②巧緻性	ちぎり方の基本をきちんと見本としてみせることが出来たか
活動③表現	子ども達が楽しく参加出来るように留意出来たか
数チャレ	(活動②で使用)おはじき10個の操作を的確に出来るよう、指導出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・巧緻性 ***

ちぎって作ろう

- ①紙(折り紙やコピー用紙等)を準備し、両方の手の親指と人差し指で紙をつまむ。
- ②切るのではなく、少しずつつまみながらちぎる。
(最初は線を書いて線をちぎるのもよい)
- ③模様や動物など、切るものを決めてちぎるのも楽しい。

この辺をちぎってみよう!



紙を「ちぎる」は「切る」との違い両手の指先を同時に使わないと出来ません。指先を使うことで脳にも良い刺激になります。



今月のえかきリズム

*** おかみさん ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

